

## 荒川発！主体間連携による パートナーシップを実現した環境保全活動 ～過去16年の軌跡と飛躍する17年目のクリーンエイド～



子どもたちに、自然豊かな荒川を。  
私たちは、「拾う」ことから始めています。



特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム

# 荒川の概要

荒川は、埼玉県の秩父から熊谷、東京の北東部を流れて東京湾へと注ぐ



流域面積：2,940km<sup>2</sup>

流路延長：173km

流域内人口：約1000万人

人口密度：3,100人/km<sup>2</sup>



# 荒川クリーンエイドの背景

クリーンエイドとは、クリーンアップを意味する造語。

Clean(きれいにする)+Aid(助ける)

## 【1994年に活動をスタート】

1994年、荒川放水路の通水70周年を契機に、旧建設省と連携し、約2000人で活動を開始。

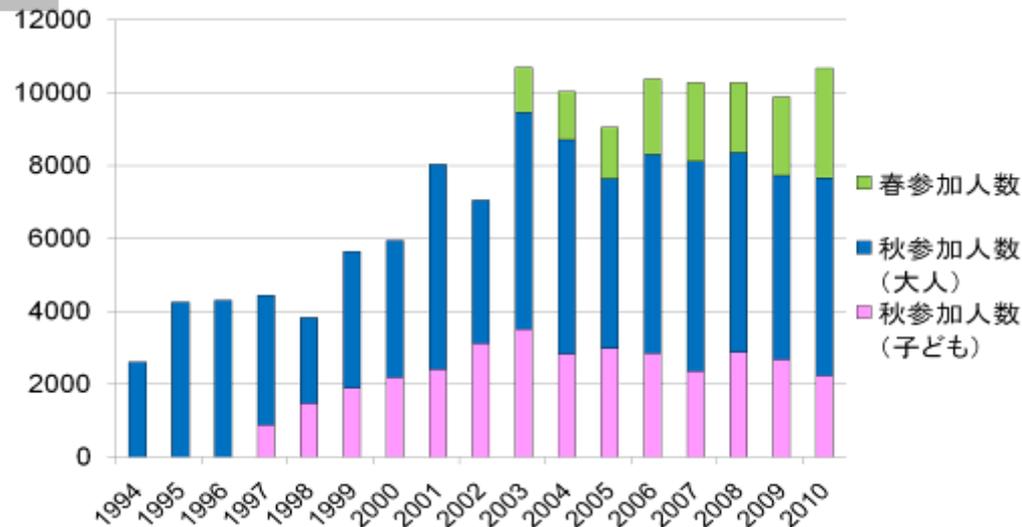
## 【1999年にNPO法人化】

(目的)定款第3条

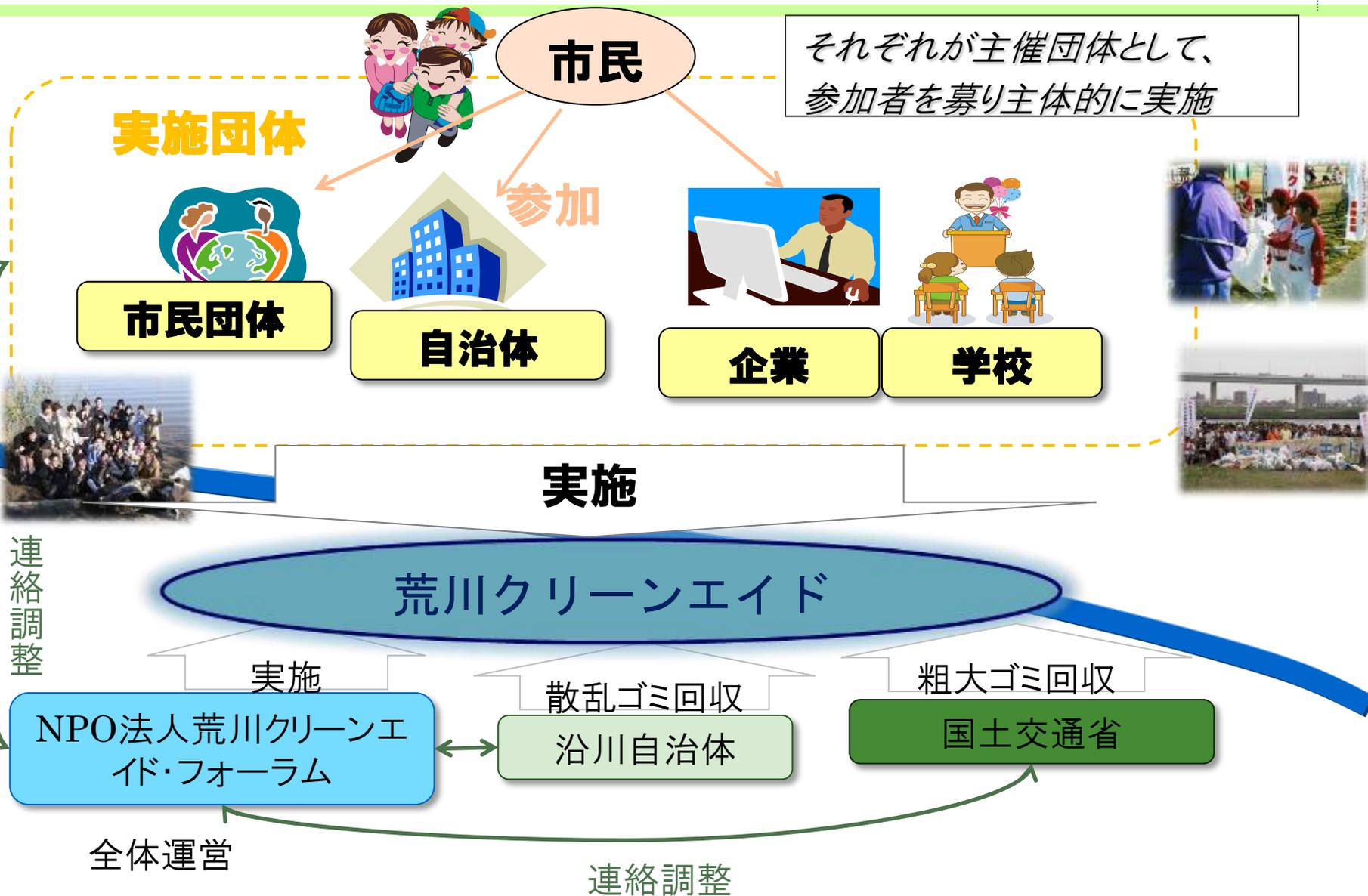
- 市民の環境意識の高揚
- セクター間パートナーシップ
- 河川管理の市民権を獲得



## 【現在は年間参加者は約1万人】



# 荒川クリーンエイドの仕組み

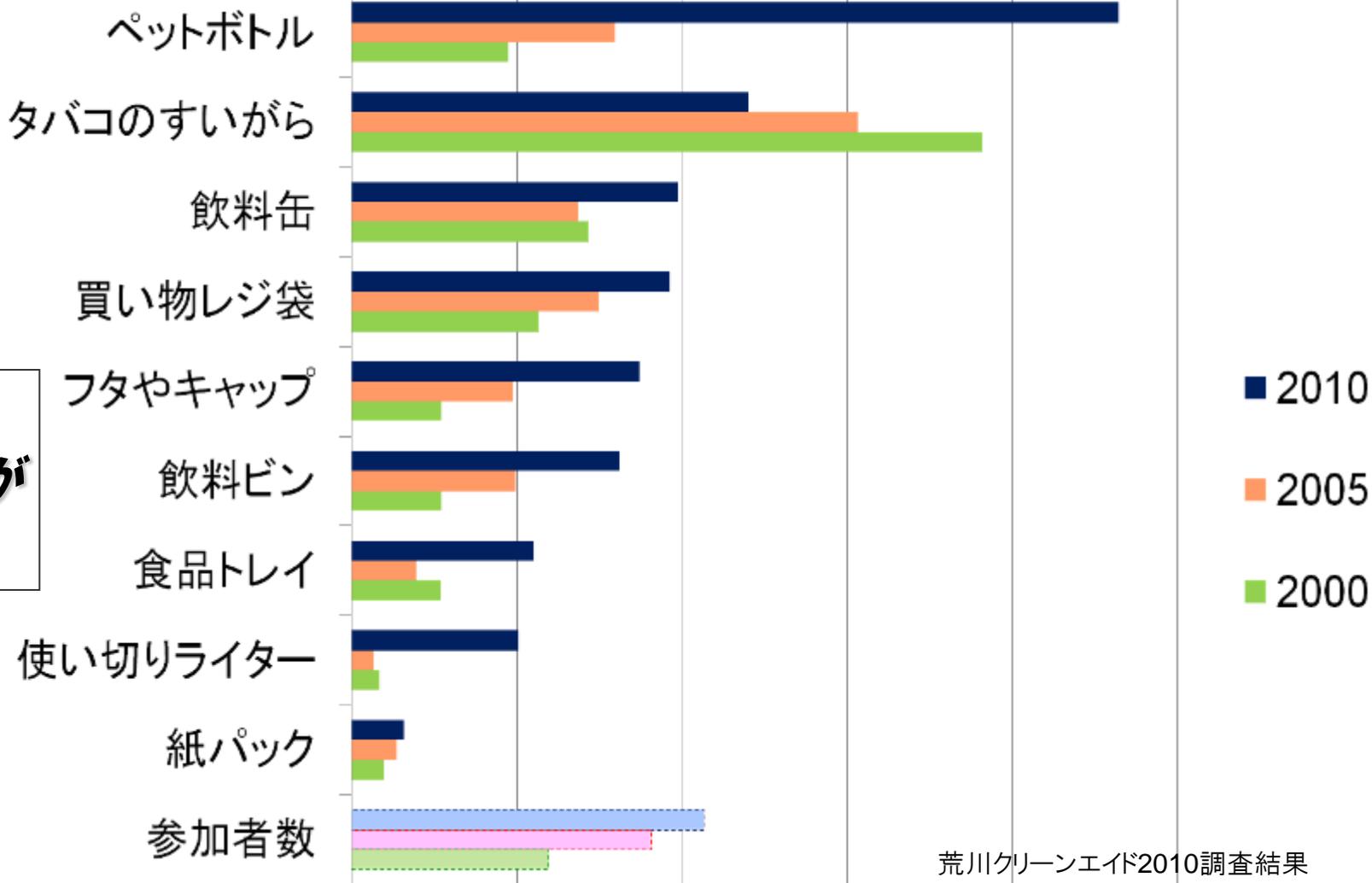


# 活動の様子



# 荒川の散乱ゴミ～5年前、10年前との比較～

0 5000 10000 15000 20000 25000 (個数)



従前は  
タバコが  
トップ

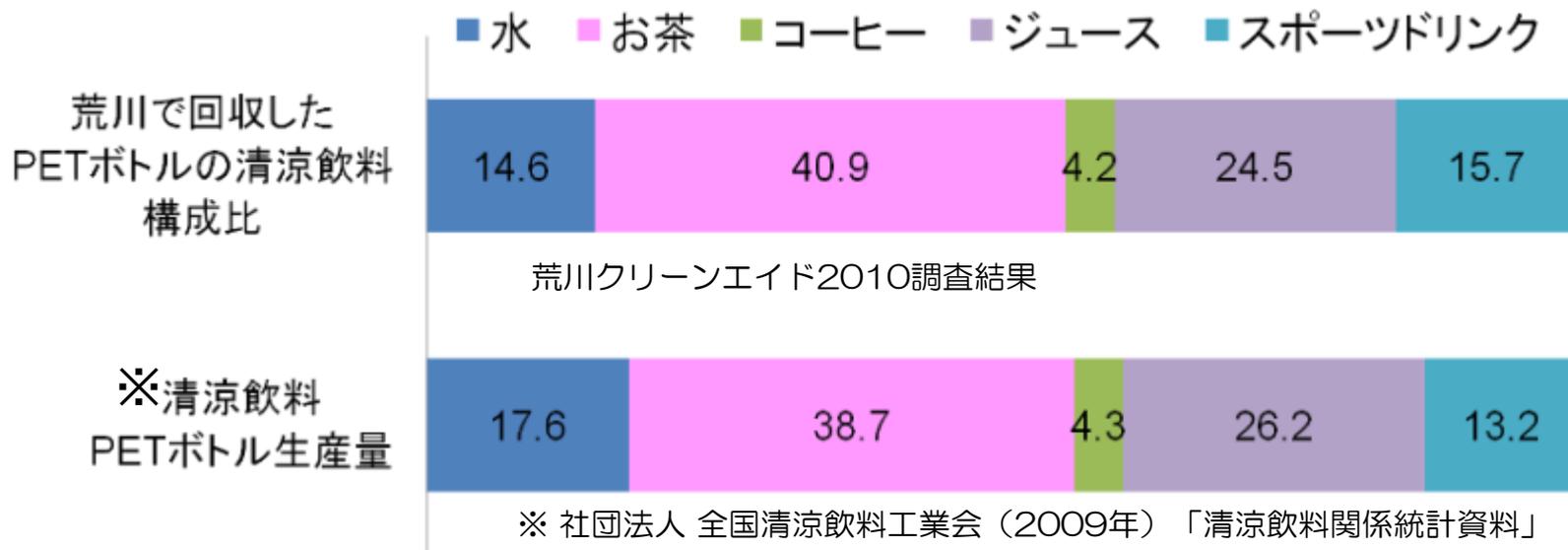
荒川クリーンエイド2010調査結果

# ペットボトル大捜索2010！



**水＋お茶で全体の50%超。**

**マイボトルを持つことでペットボトルゴミを大幅に減らすことができる。**



**荒川で回収したボトルの種類は、**

**全国の清涼飲料PETボトル生産量とほぼ一致**

**荒川のゴミは都市の消費社会の縮図といえる**

# 荒川クリーンエイドへの更なる付加価値

荒川クリーンエイドの定義に

「川のゴミを拾って自然が回復するのを助ける活動」との文言を明文化

水際の自然を回復



河川敷の自然を回復



生物多様性の保全

自然環境教室を展開



# おわりに ～今後に向けて

## 実現すべき明確な成果

### ゴミの発生抑制

ペットボトルを含め、増加するプラスチック系のゴミをどう抑制するか

### 年間参加者1万人を更に増やす

荒川流域の人口1千万人分にして、1万人の参加者という限られた枠をどう拡大するか？

こういった成果の積み重ねが「里川」の創造につながり、  
持続可能な荒川クリーンエイドを実現するものであると思われます。

